

おおがわら

議会だより



第164号

令和4年8月1日

QRコードから議会の情報をご覧ください

大河原町議会



夕涼み子どもまつり
令和4年6月24日
(金ヶ瀬カトリック保育園)

議案審議 (5月・6月)	②③
町政への提言	④
全員協議会	⑮
委員会活動	⑰
議員の出前懇談会	⑱
町民の声	⑲

6月会議

町民・中小企業支援

報告2件 議案7件 請願1件

今回の議案では、大河原町犯罪被害等支援条例の制定や物価高騰に対する町民及び中小企業支援事業について、活発に議論が交わされた。

令和4年度一般会計補正予算(第4号)

歳入歳出にそれぞれ5563万4000円追加し、歳入歳出の総額96億626万9千円とした。

子育て世帯生活支援特別給付金 1600万円
対象児童1人につき5万円を給付する。約320人を想定。

学校給食センター賄材料費 760万円
燃料及び物価高騰による材料の値上がり分として増額。

尾形丁中央線道路側溝改良工事 1450万円
(いずれも全会一致で可決)

報告

繰越明許費繰越計算書の報告

一般会計8事業分を令和4年度へ繰越。

7億246万6000円

予算繰越計算書の報告

公共、下水道事業会計分。

1億565万4484円

請願

文教厚生常任委員会に付託されていた、「大河原町歴史資料館」建設に関する請願は継続して審議を行うものとした。※詳細については16ページ

5月会議

専決処分の報告

工事請負契約の変更契約
南桜公園整備工事
318万4500円増額
受注者
株式会社斎藤工務店

工事請負契約の変更契約
白石川右岸盛土部整備
工事(その2)
146万9600円増額
受注者
株式会社八重樫工務店

損害賠償の額及び和解
側溝蓋の落下による
ケガの和解。該当場所
については、6月会議
に補正予算が上程され、
修繕を行った。

損害賠償の額及び和解
グレーチングの弾み

工事請負契約

大河原中学校校舎前屋
外環境整備工事請負契
約の締結

5005万円

受注者
株式会社八重樫工務店

パークゴルフ場整備工
事請負契約の締結

1億2595万円

受注者

株式会社八重樫工務店

(いずれも全会一致で可決)



大河原中学校校舎前に駐車場などの整備を行う

条例制定

大河原町犯罪被害者等
支援条例の制定につい
て

「犯罪被害者等基本
法」及び「宮城県犯罪
被害者支援条例」に基
づき、犯罪被害者等が
受けた被害の回復及び
経済的な負担軽減や生
活の再建を図り、町及
び関係機関等で犯罪被
害者等を支える社会の
形成を促進するため制
定。
(全会一致で可決)

条例改正

大河原町議会議員及び
大河原町長の選挙にお
ける選挙運動の公費負
担に関する条例の一部
改正について

選挙運動用自動車の
使用をはじめ、選挙運
動用ビラの作成及び選
挙運動用ポスターの作
成に対する公費負担額
についての改正。

新型コロナウイルス感
染症の影響により収入
が減少したこと等によ
る国民健康保険税の減
免に関する条例の一部
改正について

新型コロナウイルス感
染症の影響により収入
が減少したこと等によ
る介護保険料の減免に
関する条例の一部改正
について
(いずれも全会一致で
可決)

による車両の破損の和
解。

令和4年度大河原町一般
会計補正予算(第2号)
1億291万6000円

主に令和4年3月16
日に発生した福島県沖
を震源とする地震に係
る災害復旧費として計
上。



被害があつたさくら大橋

一般会計補正予 算(第3号)

歳入歳出にそれ
ぞれ2億1321
万9千円を追加し、
歳入歳出の総額96
億1063万5千
円とした。

新型コロナウイルス
クチン4回目接種関連
●コールセンター業務
委託料

1020万円
予防接種委託料
1750万円

接種日程

令和4年7月から11
月下旬まで(予定)

対象者

●3回目接種完了から
5か月以上経過した60
歳以上の方
●18歳以上60歳未満で
基礎疾患を有する方
●新型コロナウイルス
感染症にかかった場合
の重症化リスクが高い
と医師が認める方



燃料高騰対策運送業等中小企業者支援金
2000万円

燃料の価格高騰を受け、燃料経費が事業を圧迫
している運送業等を営む中小企業者に対し、事業
の継続と雇用の維持を目的に支援金を支給する。
燃料使用数に応じて支援金を支給。

「おおがわら商品券」(町民生活応援)発行事業関連
1億2181万1000円

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い行動自粛
及び消費抑制の長期化、物価高騰による影響から
町民生活を応援するため「おおがわら商品券」を
町民1人あたりに対して5000円分を発行す
る。

商品券送付時期

令和4年8月8日~12日(予定)

商品券使用期間

令和4年9月1日~令和5年1月31日

MTBパーク維持管理
等業務委託料

450万円

オープンしたマウン
テンバイクコースのメ
ンテナンス、レンタル
バイクの貸出し、簡易
レッスン自転車教室支
援等を含めた維持管理
などの業務委託をする。



レンタルバイクの有効活用を

道路地震災害復旧工事
2460万円

橋梁の構造上に異常
が見つかつたことから、
追加の補修工事分を見
込み、計上。
(いずれも全会一致で
可決)

町政への提言 Q & A

一般質問とは、町長や教育長に対して事務の執行状況や将来に向けての考えなどを問い質すもので、今回は10人の議員が行いました。

- 万波 孝子 P.5
 - インボイス制度導入について
 - オミクロン株「上気道狭窄」に注意を
 - 高齢者の補聴器購入に助成を
- 高橋 芳男 P.6
 - 太陽光発電パネルの処分体制を
 - 腎代替療法を選択しやすい体制を
 - 水道管の漏水対策に最新技術を
- 高橋 豊 P.7
 - 自治会のデジタル化について
 - 指定管理者制度について
- 佐藤 暁史 P.8
 - インクルーシブなまちづくり
- 大沼 忠弘 P.9
 - 障害者・知的障害者相談員の復活再考について
 - 学校給食について
 - 食のブランド化を具体的に推進するために
- 山崎 剛 P.10
 - 大河原公園多目的グラウンドの使用について
- 佐久間 克明 P.11
 - 民間との協定の締結と今後について
 - 「ミズベリング」の取り組み
- 丸山 勝利 P.12
 - 文化財の保護と利活用について
- 大沼 常次 P.13
 - 教育活動を充実させるために長期休業日を短縮するための検討について
 - 町内の学校教職員に身分証明書発行の検討について
 - 学校外における行き過ぎたスポーツ活動の実態について
- 中村 淳 P.14
 - 白石川左岸遊歩道等の整備について
 - 行政区再編について

※は、誌面の都合により掲載できなかった質問。アクリル板を設置しているため、表情が見えにくい場合があります。内容は、大河原町議会ホームページ内の「インターネット議会配信」で視聴できます。(https://ogawara-town.stream.jfit.co.jp/) 各一般質問の録画は、QRコードからご覧いただけます。



※ インボイスは中止すべき

県町村長会議で提起する

インボイス制度は来年10月から導入される。インボイスがなければ仕入にかかる消費税額を控除できなくなる。インボイスを発行できないのは消費税の課税業者だけ。発行できない免税業者は取引から除

請求書の対応例

請求書の項目	金額	消費税	合計
11/1	5,000円	1,000円	6,000円
11/1	10,000円	2,000円	12,000円
11/15	10,000円	2,000円	12,000円
11/22	2,000円	400円	2,400円
11/22	15,000円	3,000円	18,000円

インボイスが始まると求められる適格請求書(国税庁HPより)

町長 (給料)に含まれている消費税はセンターの負担増となる。

町長 インボイス制度をどう考えるか。軽減税率の導入により事業者の申告事務の効率化・適格化を目的に法整備されたもの。

町長 日本商工会議所、全国税理士会、全国商工団体連合会等が凍結・中止等を国に要望している。各自治体でも党派を超えてこうした声をあげている。町長もこの立場に立つべきでないか。

町長 さまざまな動きがあることは承知している。県町村長会議で問題提起していく。

町長 消費税のインボイスとは「適格請求書等保存方式」という。課税業者でない仕入税額控除ができなくなる。

町長 オミクロン株感染者に「上気道狭窄症」が

デルタ株までは上気道狭窄(のどが腫れてつばも飲み込めない)も息を吸うのが苦しい等)につながらる症例は一例もなかったが、オミクロン株陽性の入院患者から上気道狭窄症が出ていたので、耳鼻咽喉科受診を、と学会が呼びかけている。

町長 こうした情報は届いているか。

町長 現時点では届いていない。

町長 町民の命を守るために必要な情報は全て町民に提供を。

町長 町が主体的にはならないが、今後国、県の動向をみながら対応する。

町長 高齢者の半数は加齢性難聴といわれている。高齢者の社会参加や介護予防の促進を図るために補聴器購入に助成する自治体が東京都港区他14区、山形県庄内町等全国に広がっている。

町長 30万円もした。高い。保険適用外なので助成してほしい声が届いている。検討できないか。

町長 生活の支障、助成の要望を把握し対応を検討するため、高齢者福祉計画等の策定時のアンケート項目に補聴器を盛り込む。

町長 一步先行くまちを掲げる町として県内初の実施を目指していく考えはないか。

町長 町民の声をしっかり受け止め、現場主義で対応する。



万波 孝子

一般質問

太陽光発電パネル

回収・処分の対策を

町のみでは進められない



高橋 芳男



合することが大前提の治療法であるため、誰でもすぐに受けられる治療ではない。本町としては腎代替療法が必要となる末期腎不全を予防するため、今後とも健康診査や保険指導等の保険事業に努めていく。

水道管漏水対策に最新技術を

高橋 厚生労働省によれば、全国の水



今後廃棄パネルの増加が見込まれる

地が多い地域では有効と思うが、本町のように給水区域が狭い町では、これまで通り探知機での調査が有効と考えている。

高橋 太陽光発電パネルは国の補助制度によって、広く購入・導入されてきたが、太陽光発電パネルの耐用年数は、一般に20から30年と言われている。あと10年もすれば順次寿命が訪れ、年間約50万から80万トンの使用済みパネルが排出されると見込まれ、リサイクルや埋め立て処分など、処分時の問題が表面化している。

町長 これまでに導入された太陽光発電パネル等が使用済みとなって排出され始め、今後さらに増加することが見込まれている。これは承知している。しかし、太陽光発電パネルを廃棄、または処理する場合は「産業廃棄物」として扱われるが、産業廃棄物の収集運搬業者、リサイクル業者

あるいは埋立処分業者の必要な許可は県の業務となっており、本町のみが進める対策ではないと考えている。

腎代替療法を選択しやすい体制を

高橋 腎代替機能が低下した慢性腎臓病は、成人の8人に1人が該当すると言われている。一般的な血液透析だけでなく、患者の希望する腎代替療法

のうち「腹膜透析」は、自宅で行えて規制が少なく、「腎移植」は、ほぼ規制がなく、医療費も大幅に抑えられる。患者の希望に対応した体制作りを推進、検討していくべきと思うがどうか。

町長 「腹膜透析」は、カテーテルを腹部に埋め込むため、感染症など合併症を発生する危険性が伴う。「腎移植」は、腎臓提供者や提供された腎臓と適

くにもなり、デジタルデバイス対策等メリットがある。今後、行政区のデジタル化も必要であると考え、質問する。

高橋 集会所にWi-Fi設備を設置すべきでは。

町長 行政区からの要望もなく優先して整備を行う状況ではない。

高橋 行政区のデジタル化に向け、区長へのタブレットの貸与及びデジタル化モデル地区を選定して取り組んではどうか。

町長 町側が推進計画を作成し、段階を踏む中でタブレット

理解普及から着手



行政区の中にもデジタル化の波が

地域活動のデジタル化が新型コロナウイルス又感染拡大に伴い、全国各地で進められている。コロナ禍の中で、集会所の利用や巡回回数を控える等各自治会

で対策に取り組む中で、SNSの活用など新しい生活様式を取り入れて活動している先進的な自治会がある。デジタル化は若い世代が自治会活動に参加しやすい

貸与やモデル地区選定の普及策があるのとされている。行政区、地域のデジタル化の理解普及から手掛けていきたい。

指定管理者制度について

今回指定管理者となっているNPO法人において不正が発覚した。法人内部の問題とはいえ多額の税金が投入されている。町民も関心している。この事件についても問題があったのではないかと考え、質問する。

高橋 指定管理者の選定基準契約の内容、取り決めについて伺う。

教育長 指定管理者の指

協定を締結している。**高橋** 管理について立ち入り調査の有無と調査内容は。**教育長** 町に代わって管理運営を行っているので上下関係に立った立ち入り調査ではない。経費の収支状況、施設の維持管理運営状況、職員の勤務状況等について調査している。

高橋 今回の問題を受けて町側の管理の改善点は。**教育長** 行政機関でのモニタリングに係る緩慢な部分、鵜呑みにした報告内容等改善していかなければならないと考えている。

高橋 指定管理者選定に関して公募の予定は。**教育長** 選定に基づき公募で進めるものとなっている。

行政区デジタル化

DX自治体



高橋 豊

一般質問

排除されない
まちづくり

車椅子で「まち歩き」を

事業参画も含め協議する



佐藤 暁史

達、高齢者、障がい者などの声を取り入れることはできないか。

町長 賑わい施設は誰が利用できるか、ユニバーサルデザインの取り組みはもとより、様々な分野の皆さまから声を聴かせていただき進める。

るので、滑りにくい素材等に修繕するなど対応を図っていききたい。

佐藤 役場に来た人が、玄関で滑って、排除されないような庁舎にしてほしい。

企画財政課長 業者の方にも、どのような手法があるか確認しながら対応していく。

佐藤 本町の顔でもあたる役場庁舎。インクルーシブなまちとして、庁舎入り口のスロープと玄関を滑らないようにできないのか。

※ユニバーサルデザインとは文化・国籍・年齢・性別・能力に関わらず多くの人が利用できる設計の事。またそれを実現するための過程。

町長 スロープ及び玄関について、雨等で濡れる場合には滑

※ユニバーサルデザインとは文化・国籍・年齢・性別・能力に関わらず多くの人が利用できる設計の事。またそれを実現するための過程。



車椅子でまち歩き「気付き」を得よう

町長 本町にあった機能を持ったアプリについて、十分に調査研究を進めていきたい。

佐藤 賑わい施設など公共工事が進められる。設計や計画の段階で小さな子どもを持つ親、そして子ども

を見つけないのではなく、経験から気づきを得るのが第一の目標。車椅子で行けるといいう事は、高齢者やベビーカーを使う人にとつても安全だという事に結びつく。福祉、防災に関わる人と一緒に気づきを得て、今後のまちづくりに生かしていきたいか。

町長 一緒と言う感覚を進めていく。そういう視点は重要なことで

佐藤 インクルーシブな「まちづくり」の一環として、実際に車椅子に乗り「まち歩き」をしてはどうか。

町長 このような事業への参画を含め社会福祉協議会と協議していく。

佐藤 「まち歩き」をすることで改善点

本町は人口も増え、それだけ町や議員に対しての要望も多様化してくる。人種、性別、年齢、障がいの有無など、その人が持つ属性により誰一人排除されない「まちづくり」を推進していくことが非常に重要と考える。

佐藤 これからの多様化する社会に対応するため、インクルーシブな「まちづくり」を推進する考えはあるか。

臨時交付金を活用

学校給食費へ影響は

物価高騰

日	品名	単価	数量	金額
13	鶏肉	200	10	2000
14	豚肉	150	10	1500
15	牛肉	180	10	1800
16	魚肉	120	10	1200
17	野菜	80	10	800

今日の給食メモ

6月は産地産品です

今月使用する大河原産の地産産物は

- 「たまねぎ」
- 「アスパラガス」
- 「さつまいも」
- 「かぼちゃ」

地場の旬な食材を味わおう(6月献立より)

大沼 原材料費や光熱費等の高騰に伴う給食費への影響は、物価高騰の影響を受けている。これまで通りの栄養バランスや量を保った学

校給食を提供することは、大変困難になると考えていることから、高騰した分の費用について本議会で地方創生臨時交付金の活用により補正予算として計上。

教育長 魚を中心とした献立については、肉に比べて児童生徒には人気は高くないよう。味付けを工夫するなど

大沼 食のブランド化の定義を設定しているか。

町長 具体的などのよう

町長 食のブランド化には期待が大きいと感じるがどうか。

町長 コロナ禍にあつて本年度は町内飲食店の店主が料理の手ほどきを行う講座において、報償費のほか事業に係る消耗品費と印刷製本費で合計36万円を予算措置している。

年度当初の計画通り給食を考えている。

大沼 給食後の歯磨き指導は、

教育長 コロナ禍以前は歯磨きを励行していたが、コロナウイルスの飛沫感染の恐れから、比較的生徒数の少ない金ケ瀬中学校を除き、自粛している。

大沼 宮城県では毎月第三水曜日を「みやぎ水産の日」と制定している。献立にも反映してみても、魚を中心とした

事業などの事業者支援が中心となっている現状にある。コロナ禍収束後には再度、食のブランド化の企画・事業費等の組み立てをして、説明をしたと考えている。



大沼 忠弘



一般質問

大河原多目的グラウンド



山崎 剛

防護ネット等の整備を

危険度等を見定めて対応

多目的グラウンド使用予約表をみると、硬式球で行うシニア野球クラブチームの町外からの予約が見受けられる。このことを踏まえた上で疑問点を問う。

山崎 硬式球は軟式球とは違い危険度が高いことを承知の上でグラウンド使用許可を出しているのか。

教育長 硬式球の使用制限に関することは定めておらず、申請があれば原則として使用を許可している状況。多目的広場は大河原公園の中にあり、硬式球は危険度が高いものとして認識していることから、申請時に使用の際、万一事故が発生した場合の対応、更には、周辺を散歩する人への注意や配慮などの説明を行い、使用団体の十分な理解を得たうえで使用許可を出している。

山崎 防護ネットやフェンス等の設置があるなかでの練習をするならまだしも、公園と称されている多目的グラウンドの使用許可を出すのはどうなのか。

教育長 多目的広場は防護ネットやフェンス等の設置がないことも含め十分注意のうえ使用する旨を伝えていく。

山崎 スポーツ保険等の加入は絶対条件としているものと判断するが、グラウンド使用中に重大な事故が発生した場合の使用者の事故対応レベルの確認や確約は取り交わしているのか。

教育長 スポーツ保険にする各団体に加入し、プレー中は自己責任において活動していただくものと捉えている。事故の未然防止について各団体に説明しているが、万一事故が発生した場合は、速やかに当該団体が対応する旨、理解を頂いている。



硬式球使用の際は注意を

山崎 周辺の環境整備の対策も必要となってくると思うが、危険度を最小限に抑えるための防護ネット等の整備が必要だと思うが現状は。

教育長 現在はバックネットの設置にとどまっていることから、今後、使用団体の状況等を確認し、状況を見定めながら判断していく。

山崎 優先順位と料金、新型コロナウイルス感染症対策での施設

教育長 現在バックネットの設置にとどまっていることから、今後、使用団体の状況等を確認し、状況を見定めながら判断していく。

山崎 コルクかゴムを芯にして毛糸を巻き付け牛革または馬革で包んだボール。重さは142g〜148g。

教育長 予約受付、料金例、施行規則に基づいて徴収している。感染状況により使用制限が生じる場合は、広報おしらせばんやホームページでその都度周知していく。

町長 災害対応において有効と考えるので精査し年度内に締結したい。

佐久間 既存の協定締結先と情報交換の機会はあるのか。水害等で民間施設に避難した後、民間事業所から食事提供を受けるなどの事態も考えられる。情報交換の機会とデジタルに対応したメール情報等の更新も必要と考える。

町長 相手先との情報交換の機会が少なくない状況、協定内容の詳細を決めていない等もあるため、定期的な内容や連絡体制の確認、平常時から連携を強化した体制整備に努める。

町長 「ミスベリング」は面白い切り口だと思う。町として何ができるかではなく、官民連携を強く意識してまちづくりや、地方創生を展開していく必要性を感じた。

佐久間 県の事業で「スマイルリバープログラム」があり、年2回の河川清掃を行う等の規約がある。町民が関わることでより一層、自分事として愛着がわくのではないかと。

町長 町としてあまり規制をかけず後押ししながら進めたい。「水辺で乾杯」は最高に良いと思う。実践できると考えたい。

町長 以前紹介した民間企業、団体と町の「防災協定」締結の進捗は。

佐久間 民間協定の締結と今後は

町長 民間協定の締結と今後は

佐久間 民間協定の締結と今後は

町長 民間協定の締結と今後は

佐久間 民間協定の締結と今後は

町長 民間協定の締結と今後は

佐久間 民間協定の締結と今後は

町長 民間協定の締結と今後は

佐久間 民間協定の締結と今後は

町長 民間協定の締結と今後は

佐久間 民間協定の締結と今後は

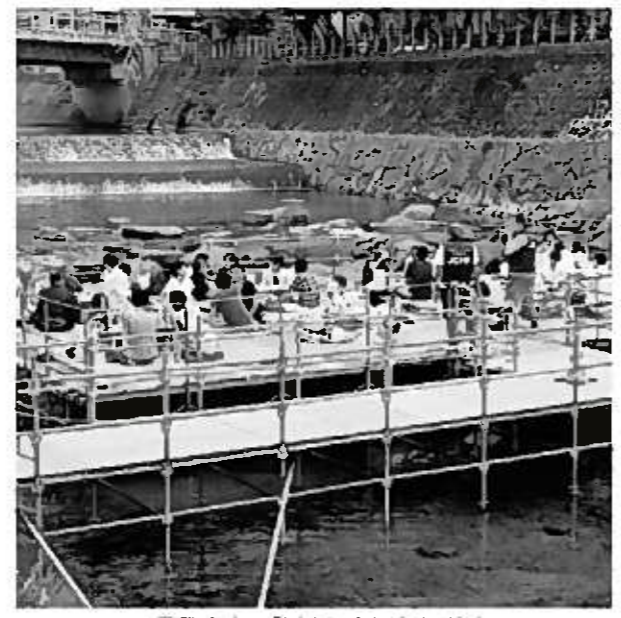
町長 民間協定の締結と今後は

佐久間 民間協定の締結と今後は

町長 民間協定の締結と今後は

ミスベリングの取組みを

官民連携し後押ししたい



飛騨高山の「川床で楽しむナイト」

国土交通省も推奨している「ミスベリング」の取組みがある。これは、新しい水辺活用の可能性を切り開くための官民一体の協働プロジェクト。町民が主

体的に関わり、水辺と町が一体となった景観、にぎわい、新しい水辺と社会の関係を生み出すムーブメント。代表的なものとして毎年7月7日に全国一斉「水



佐久間克明



一般質問

文化財

資料館の建設を

長期総合計画に位置づける



丸山 勝利



丸山 資料館などはただ収蔵品を展示するだけではなく、先人の志を学ぶ場としても重要ではないか。また、桜祭りなどで来町した人に、高山開次郎氏による桜がある歴史などを知ってもらい、大河原町のブランド化にもつながる。資料館は必要ではないか。

町長 先ずは長期総合計画に位置付けて実施に向けて検討したい。

丸山 民間団体の佐藤屋プロジェクトにより、旧佐藤屋で屋敷を活用して開放と展示を行っているが、支援体制は。

教育長 今年度から、集客増と認知度向上を図るため、佐藤屋プロジェクト企画展と町文化財企画展・講演会を同時開催すべく計画準備を進めている。



旧グリーンセンターに移動した収蔵品。ゴミではありません

いる堤神楽と小山田やすこの保護と支援体制は。

教育長 イベント出演や福祉施設への訪問活動のバックアップ及び記録保存を行っている。

後継者不足問題も聞いている、会員募集のPRを広報や情報誌、ホームページで行ってきたい。

埋蔵文化財や有形文化財、文化財的価値の高い建物などは、ある程度維持管理をしないと文化財的な価値が失われる恐れがある。古来より人々が大切に受け継いできた文化財を我々の無関心により、その価値を失うことはあってはならない。

丸山 藤原国衡が戦死した金ヶ瀬地区の馬取田を見下ろせる、松山先生より寄附していただき整備した馬取田公園があるが、横穴古墳などもあるので詳しい看板の設置や観光案内など整備してはどうか。

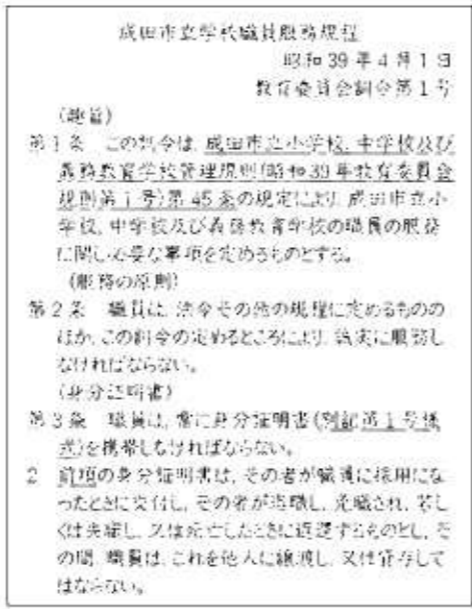
教育長 馬取田の看板は解りづらい。また、馬取田公園には松山先生の石碑もあるので整備も含めて考えていきたい。

丸山 小学校では志教育を行っているが、内容はどのようなものか。

丸山 先人に高山開次郎氏があります。苦労して成功し、白石川土手の改修に合わせ桜の木を寄附、植栽した。今では全国的にも一目千本校として有名になったが、まさにふるさと納税の先駆けと言ってもいいもので、桜の寄附が無く、桜のない大河原町を想像すると高山開次郎氏の功績はすばらしいものだと思う。町長は高山開次郎氏の志をどう受け止めているか。

町長 桜は町民の誇りであり、本町の象徴と受け止めている。高山開次郎氏の功績は極めて大きく、重いものと受け止めている。

放課後の活動の充実を 長期休業日の削減は無理



学校教職員へ身分証明書交付している地教委の例

学校には様々な特性や個性を持った児童生徒が学んでいる。その集団生活の中で発生するトラブルや問題行動、さらには家庭環境から起因する問題もある。生徒のそれらの問題や悩みなどに充てる機会には主に放課後である。

しかし、中学校では週4日が6校時まで授業があり、放課後の時間があまりにも少なく、生徒との対話やその他の教育活動や部活動の時間も十分に確保できていない。

大沼 長期休業日の短縮について、週のほとんどが6校時目であるタイムテーブルでは、放課後の教育活動が窮屈だと思いが、現状をどのように捉えているか。

教育長 各学校では週時程表を柔軟に変更して運営している。質問に対しての回答が合っていない。放課後の活動時間が少なく、窮屈になっているか、質問している。

大沼 窮屈になっているかどうかが、ここで質問している窮屈という

意味は放課後の時間が短くてやりたい教育活動が十分にできないと言っている。

教育長 各校の校長からはそのような要請は現在のところない。学校職員にも身分証明書の交付を

大沼 町の小・中学校の教職員に更なる帰属意識を醸成する一つの手段として町職員と同様に町の職員としての「身分証明書」を交付してもいいのではないか。

教育長 本町への転入職員の交付と服務宣誓を行っている。なお、本町の教職員はネームカードを身に着けている。

ならないにもかかわらず、交付に対して拒否する理由が分からない。

教育長 町教育委員会が交付するのはなじまない。また、身分証明書を交付しても、使う機会や果たしてそれが通用するの疑問である。

学校外での行き過ぎたスポーツ活動の実態について

大沼 一部の中学校の部活動の親の会等が主催している団体において行き過ぎたスポーツ活動が散見されるが町教委としての認識はどうか。

教育長 認識している。認識している。

大沼 認識しているというが、どのように感じているか。

教育長 親の会やクラブチーム等への参加については、本人の希望と保護者の同意の下での活動として尊重しなければならない。

教育問題



大沼 常次



一般質問

白石川左岸遊歩道

ベンチ等の再整備を

県土木事務所に報告



中村 淳



中村 先日、日本初の河川敷MTBコースとしてスパークがオープンした。

週末にもなると家族連れ等で結構な賑わいを見せている様で、大変喜ばしい。

対して白石川左岸の既存の遊歩道を含めた施設の整備が滞っている。

中村 高齢者にもっと、さくら大橋の上流はベンチの設置数が少ない。通して散歩し

たいが、休めないのが難しいとのこと。健康寿命を延ばすために歩くことは有効。

ベンチの増設及び東屋の設置の考えはないか。

町長 指摘の部分は、県の桜づつみモデル事業で設置されたベンチ7基がある。設置希望場所は、県の管轄区域であり、町としては設置する考えはない。

町長 指摘の部分は、県の桜づつみモデル事業で設置されたベンチ7基がある。設置希望場所は、県の管轄区域であり、町としては設置する考えはない。

要望があることを大河原土木事務所に報告する。

中村 河川公園のトイレは現在、和式になっていない。

最近、和式で用を足せない子どもが大半だと聞く。洋式化できないか。

町長 ここに限らず、洋式化の要望はある。更新時に洋式化を図る。ここには、多目的トイレが設置してあるので、活用して欲

しい。

中村 多目的トイレは、施設できる様になっていない。運用を確認したい。

地域整備課長 施設できるよ

うになっていない。凍結防止で閉鎖していたかもしれないが現状は施錠していない。

行政区再編 行政区の見直しについては、ここ数年でも多様な視点・観点から繰り返し質問されている。

重要課題。過去答弁で見直しを図りたいとあるが、進捗状況は如何か。

中村 どの様な検討をされているのか。いつ頃の再編を目指しているのか。学区の再編を含むと思うが、距離を優先できないか。

町長 行政区再編においては、区民の理解と考える。長期的な取組みとして位置づける必要がある。現時点では、行政区長に対し、分区分区に関する研修を行うなど、再編に向けた支援を行える体制を整えている状況。学区については、少子化を踏まえて学校施設整備・再編の方針を策定するため、分区分区に関する議論を先行させる。

中村 いつまでにという目標設定は必要。実際通学距離を比較すると、現在は、ア

ンマッチ。再編時考慮されたい。

町長 小学校学区変更は必要ないと考える。期限についても現時点で言える状況ではない。

中村 今年度、大小でクラスが増え予算を補正した。学区見直しで、不要だった可能性あり。検証願う。

町長 予算面での検証は視野になかった。



休憩場所は重炭

全員協議会

大河原町パークゴルフ場整備工事

事業概要

令和2年度に大河原町が策定した「白石川右岸河川敷等整備事業基本計画」に基づき、年間を通じたイベントの開催やスポーツを中心とした賑わい空間の創出、町民の健康増進につながるような新たな景観視光スポットとして、子供から高齢者まで幅広い世代が楽しめる多目的な空間を整備することを目的として白石川右岸河川敷の整備を口指すもの。



工事内容
白石川右岸高水敷にパークゴルフ場4コース36ホール、総延長1679mを整備。
令和4年6月に工事契約を結び、整備工事に着手している。
今後の工程
令和5年2月中旬 工事完了
令和5年度内オープンに向け準備

新型コロナウイルス感染症対策のため、地方創生臨時交付金1億7871万7000円を活用します。

事業名	事業内容
1. 新型コロナウイルス感染症拡大影響中小企業者支援給付金(第4期)	1事業者に対し10万円を給付。(対象:新型コロナウイルス感染症の影響により令和3年12月から令和4年3月までのうち、1ヶ月の収入が15%減少した事業者)
2. 燃料高騰対策運送業等中小企業者支援金事業	令和3年10月から令和4年3月までの燃料使用量に応じ、車両1台あたり10万円を上限に支援金を交付。(対象:燃料価格高騰の影響により事業が圧迫されている町内の運送業等中小企業者)
3. おおがわら商品券(町民生活応援)発行事業	町民1人あたり5000円分の商品券を発行。
4. 学校給食物価高騰分負担軽減事業	学校給食費の保護者負担が増えないよう、学校給食の材料代を前年と比較し増額分を補填するもの。
5. 庁舎手洗い自動水栓化事業	感染予防強化のため庁舎の手洗いを非接触型の自動水栓に改修。
6. 議会ICT推進事業	議会会議・議員活動にタブレットを導入。
7. 大河原小学校通級指導教室空調設備設置事業	1クラス学級が増えることから安全に学習できる環境を整備するためエアコンを設置。
8. 大河原南小学校通級指導教室空調設備設置事業	町税の納付に関し、感染防止を図るため口座振替を積極的に推進。口座振替登録の端末を窓口を設置し、キャッシュカードを通すだけで登録できるようにする。(令和4年10月開始予定)
9. ペイジー口座振替委託事業	町内中小企業振興資金融資において、感染症の影響により事業収入が5%以上減少した事業者に対し、利息補給を実施。
10. 事業継続支援利子補給事業	新型コロナウイルス感染症に罹患した児童・生徒等が通学している学校等の消毒。
11. 学校施設等消毒事業	庁舎等施設にアルコール消毒など消耗品を購入。
12. 庁舎等感染症対策事業	

地方創生臨時交付金活用事業

報告

令和3年度 ふるさと寄附金

前年度より
大幅増

寄附総額 23億7256万4500円
令和3年度事業に活用(財源に充当)されました

大河原町ふるさと寄附金の寄附状況及び活用状況

寄附金の使い道 (寄付者希望)	主な活用事業	件数	寄附金額	※活用額 (寄附金額の1/2)
1. 少子高齢化関連	<ul style="list-style-type: none"> 施設型保育運営給付事業 妊産婦、乳児健診事業 子ども医療費助成事業 後期高齢者医療事業 介護保険事業 	1万1192件	5億5333万2000円	2億7666万円
2. 農業・商工業振興	<ul style="list-style-type: none"> ほ場整備事業 有害鳥獣対策事業 米の生産調整事業 農業用施設等補修関係 商工会補助事業 企業立地促進事業 	3094件	1億4842万1000円	7421万円
3. 一目千本桜の保護	<ul style="list-style-type: none"> 桜樹保護事業 一目千本桜ブランド化事業 大河原町観光物産協会関係補助金 白石川右岸河川敷等整備事業 	3435件	1億6184万6000円	8092万円
4. 医療・福祉関連	<ul style="list-style-type: none"> 予防接種事業 (個別・集団・インフルエンザ等) みやぎ県南中核病院企業団管理費等負担金 自立支援給付事業(障害福祉サービス費) 	8132件	3億9862万9500円	1億9931万円
5. 教育・文化スポーツ振興	<ul style="list-style-type: none"> 大河原中学校屋内運動場増改築事業 	6061件	2億9232万6000円	1億4616万円
6. 新型コロナウイルス感染症対策	<ul style="list-style-type: none"> おおがわら商品券(町民生活応援)発行事業 	2412件	1億1524万3000円	5762万円
7. 白石川にぎわい交流空間創出プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> 白石川右岸河川敷等整備事業(MTBパーク関連事業) 	643件	3209万3000円	1604万円
8. 指定なし	<ul style="list-style-type: none"> 町営住宅等除却事業 町営住宅等長寿命化事業 大河原中学校旧屋内運動場解体事業 交通安全施設維持管理事業 公共施設等整備基金積立 	1万4159件	6億7067万4000円	3億3533万円
合計		4万9128件	23億7256万4500円	11億8625万円

※活用額については寄附金額の1/2です。残りの1/2は、返礼品調達及びポータルサイト利用など寄附募集の経費として使われています。



委員会活動

総務産業常任委員会

総務産業常任委員会は4月19日、文教厚生常任委員会は5月13日に、それぞれ次の内容について調査を実施した。

〔大道修R318中部幹線舗装補修工事〕工事完了後の現況確認調査

経過及び工事内容
これまで、現道の高さを調整せずに排水パイプや集水樹による改善を行ってきたが、抜本的な改善に至らず、今回の工事では交差点中央を12・6cmかさ上げして、雨水が四方に流れるように勾配を設けた。
また、併せて歩行者保護用ガードパイプの設置と自転車通行帯の表示も行った。

- 調査結果 参加者…委員7名 説明員2名 事務局3名
- (1) 完成後、交差点四方に設置された排水口の一部に水たまりが発生した事例があった。後日、担当課で点検したところ排水口内部に土砂が堆積していたことが判明したので清掃を実施した。
(2) 歩行者保護用ガードパイプの視認性を高めるため、パイプ上部に反射テープを付けたほうが良い。

- 〔資料〕
- 設計時の対応降雨量51・5mm/h
 - 通行量 通過車両台数5943台/日
 - 歩行者536人/日
 - 自転車79台/日 (H27年11月調査)



交差点内の排水が改善され、安全対策も講じられた

文教厚生常任委員会

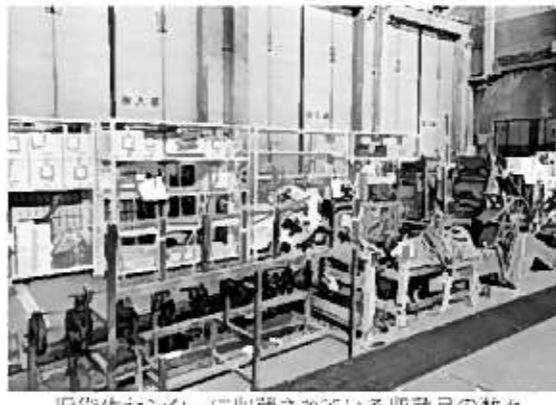
請願事項の調査
請願 「大河原町歴史資料博物館」建設に関する請願
請願者 大河原町史を語る会 及川 義行氏

聴聞内容 参加者…委員7名 説明委員5名 事務局3名

(1) 請願の理由
民族資料収蔵室は令和3年2月の地震被害により建物が解体された。収蔵品は「旧大河原衛生センター」に仮置き場として保管されている。このため、収蔵物が町民の目に触れられず、町の歴史を学習、体験する機会を失っている。また、収蔵品を管理するにも専門的な知識が必要であり、学芸員の配置も必要である。
これらの理由により「大河原町歴史資料博物館」の建設を請願されたものである。

- (2) 委員の意見
- 新たな建設は財政を考慮し慎重になるべき。
 - ランニングコストが課題である。
 - 現在の情報だけでは判断できない。
 - 展示品はこのままで大丈夫か。
 - 展示館だけで運営はうまくいくのか。

〔委員会のまとめ〕
継続して調査する。保管状況の確認が急務なので、収蔵物の現状を調査する。また、博物館等がある他市町の調査も必要である。



旧衛生センターに収蔵されている収蔵品の数々

議員の出前懇談会

住民のより身近なものとして、開かれた議会を推進するため、町民グループや地域の要望等により、議員が直接出向き、議会運営、まちづくりの課題などについて話し合い、住民の意見を議会に反映させることを目的として開催するもの。(大河原町議会「議員の出前懇談会」開催要領)

議員の出前懇談会開催 初

- 開催日時 令和4年5月20日(午後)
- 開催場所 大河原町中央公民館 まちづくりルーム
- 要請団体 公正で公平なまちづくりを考える会 15名
- 議会出席者 大河原町議会広聴常任委員会 議長

大河原町議会、初めてとなる「議員の出前懇談会」が町民グループからの要請を受けて開催されました。議員全員協議会で話し合いの結果、議会広聴常任委員会及び議長が出席し、大河原町議会「議員の出前懇談会」開催要領に基づき意見交換を行いました。

議会広聴常任委員長も取材のため出席しました。今回は「NPO法人にかかるこれまでの経緯」について意見交換・質問がありました。

今後とも議会として開催要領の見直しなどを行いながら町民の皆様により開かれた議会を目指し、議員と町民の皆様との懇談の場づくりに努めてまいります。



インタビュー 町民の声

子育てや町に望むことをお聞きしました。



プロフィール

津田万里子さん(桜町3区)
角田市出身
【家族】夫、子ども3人(二男一女)
5人家族

子どもがワクワクする未来を思い描けるまちづくりを

結婚を期に大河原町に住み18年になりました。現在は3人の子どもたちに囲まれとても賑やかな生活を送っています。自然も豊かで、一目千本桜がとても美しく、その風景を見ながら伸び伸びと育ってくれているのが、とても嬉しいです。ご近所の方も気さくな方が多く、おすそ分けをいただいたり、温かみを感じています。

子どもたちにとって大人になっても住みたい町へ

私自身、とても住みやすく素敵な町だと思っていますが、将来子どもたちが魅力と感じる町へとカタチにして行くことが大切だと思っています。デジタル時代に育つ感覚を大切に、例えば、リモート

でも仕事が出来るとの繋がりの強化や地元企業の先進的な取り組みやデジタル化への支援などを行いながら、それら子どもたちに感じ取ってもらえる様な政策を進めていただければと思います。

子どもたちのカバンの重さの軽減

最近置き勉により、カバンの重さは軽減されましたが、テスト期間には全ての教科書を持ち帰ってきますのでとても重く、根本的な解決では無い様に感じます。ノートは書く事の勉強という観点から無理でも、数年前に導入されたタブレットが教科書代わりになるととても便利だと思えます。

制服やカバンのリユース

中学校の息子は、コロナ禍や熱中症対策もありジャージ登校になり、とても有り難いと思うのと同時に、あ



このモノを大切に扱う意識も高まると思います。そういった政策があるといいなと思います。

親としても子どもたちがこの先も伸び伸びと成長し続け、住み続けたいと思える様に共に歩んで行きたいと思っています。

政務活動費

このように使われました

政務活動費は、議員の調査研究に必要な経費の一部として、議員1人当たり月額5000円を会派に交付しています。

令和3年度政務活動費支出状況

会派名	議員名	収入内訳		支出総額	返還額
		町からの交付額	会派負担額		
「がわら」の会	高橋 豊剛 山崎 勝利 丸山 慎 須藤 克明 佐久間 史 佐藤 史	330,000	621,500	951,500	0
歳 会	秋山 昇 佐藤 巖隆 岡崎	165,000	0	0	165,000
心 会	大沼 忠弘 佐藤 貴久	110,000	0	0	110,000
日本共産党	万波 孝子	55,000	416	55,416	0
公 明 会	高橋 芳男	55,000	0	0	55,000
フォーラム333	大沼 常次	55,000	90,261	145,261	0
新 政 会	中村 淳	55,000	0	0	55,000
合 計		825,000	712,177	1,152,177	385,000

《政務活動費支出の内訳》

調査研究費(視察研修費用)/広報広聴費(新聞等の発行費用)

こんな町に住みたらいな



金子 海子 金ヶ瀬小学校 男子

私が考えている未来の大河原町は、安全で、楽しく、にぎやかな町です。

そのような町を実現するために、自分からあいさつをしたり、みんなで協力し合ったり、人と人が共に交流や関わりをつくりつたりすることが必要です。そうすることで、みんながお互いを認め合うよりよい大河原町になると思います。

また、大河原町でもコロナウイルスが流行している世の中ですが、コロナウイルスが収まったら、積極的にイベントを開催するともっと楽しく、にぎやかな町になると思います。



宮東 佳那 金ヶ瀬小学校

私の理想の町は、みんなが仲良く過ごせる町です。

そのために、小さい子供から大人までが楽しめる大きな公園を作ってほしいと思っています。遊具などで遊ぶのはもちろん、その他にも、夏休みの間はそこでいろいろな体験教室を開くなどすると、違う町の人たちとも仲良くなれると思います。

今はコロナウイルスなどがあつて難しいかもしれませんが、早く収束させて町の人たちとの交流がもっと増えるといいと思います。

9月議会のお知らせ
 招集日 9月1日(木)・再開日 9月7日(水)
 お問い合わせは議会事務局まで ☎53-2800

街かどコンプレックス



町民から「お観音さん」の愛称で親しまれている上町観音堂。お祭りや、どんと祭で訪れたことがある人も多いでしょう。この境内には子安観音、馬頭観音、市神(いちがみ)様が祀られています。ここは奥州街道・大河原宿の入口。街道の特徴でもある急な曲がり角のところに位置します。当時は対岸までの渡し船が出ており、市場が開かれていた場所でもあります。

その頃の百姓にとって出産や子育ては命懸けでした。医療技術は乏しく薬など高価で買えません。最後に頼れるのは神様だけ。そんな時代背景のなか、安産祈願と子どもの健やかな成長を願う、若い女性たち自らの手で造ったのが子安観音なのです。出産を控えているお母さんや子育て真っ最中の親御さん、様々な不安を抱えている方がいるかもしれません。そんな時は一度、「お観音さん」を訪ねてみてはいかがでしょうか。大河原町の貴重な歴史に触れ、子育ての願いを聞いていただく。きっと一時の安らぎを感じられることだと思います。(佐藤 暁史)



今回の表紙は

今回の表紙は、金ヶ瀬カトリック保育園で行われた第36回夕涼み会子どもまつりのオープニングダンスです。ここ数年コロナの影響で地域の皆さんを招待して開催することができずに残念です。かわいらしいお化粧をして元気に決めポーズをとっているのは、年長クラスの皆さんです。今年は、年長さんにとって最後の年。気迫を感じます。暑い夏を元気に乗り切りましょう。(中村 淳)

お詫びと訂正
 前回(163号)の掲載内容の一部誤りがありましたので、お詫びして訂正いたします。
 ●22ページ
 大河原町樹木医の委嘱7行目
 (誤)尾形 正幸
 (正)尾形 政幸

編集後記

仙南・巨理地方町村議会常任委員長研修会が蔵王町で開催され、広報・広聴分科会に参加し、意見交換をしました。どの自治体でも住民・議員懇談会、議会報告会を開き、各行政区、商工会、婦人団体、交通指導隊、消防団等と懇談を重ね、議会の役割を果たしています。住民と議会を結び議会広報誌では工夫と課題が多く出されました。今後、みなさんの声を反映させるためにアンケート調査などの必要性を感じています。(万波 孝子)

- 編集発行責任者** 岡崎 隆
議会広報常任委員
 委員長 万波 孝子
 副委員長 佐久間 克明
 委員 丸山 勝利
 大沼 常次
 中村 淳
 佐藤 暁史